

ラグビーボールを使った “田んぼ鬼”に挑戦!

うんどうの達人プログラム

【4・5歳児対象】

準備物

- ラグビーボール
- 笛
- 養生テープなど

3つのポイント『楽しさ』『コミュニケーション』『体力向上』

STEP 1 ボールを使用する際のお約束&準備運動

10分

環境構成

- 活動前にボールを準備しておく
→ お約束確認用に一つボールを持っておく



活動の進め方

- ① 子ども達へボールを見せ、興味を持ってもらう
→ 先生は「どんな形をしている?」「重さは?」「硬さは?」など声かけを行う
→ ビーナッツの様な形をしているのでボールが不規則に動く為、跳ねたボールに当たってしまうことや、ボールをお友達にぶつけると痛いということを説明する
- ② 後ほどボールを使って楽しむことを伝え、子ども達にはまだボールに触らせない
- ③ 準備運動は一般的な「膝の曲げ伸ばし」「アキレス腱伸ばし」など、慣れているものを実施する
→ 準備運動の際に「今日は楽しくたくさん動こうね!」などと、子ども達がワクワクするよう声かけを行う

STEP 2 導入(ストップ&ゴー)(田んぼ)

10分

ストップ&ゴー

環境構成

- 一人一人の間隔を大きく取る
- 事前に危ない箇所などにマーカーやカラーコーンなどを置き、子ども達に近づかせないようにする

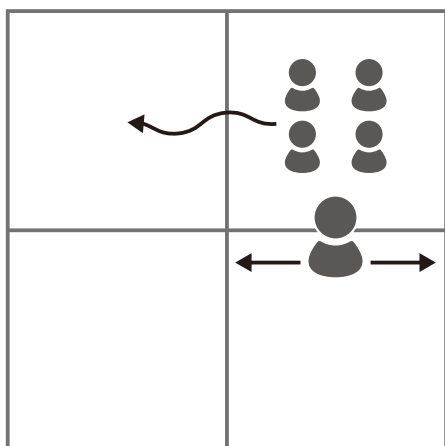
活動の進め方

- ① ゆっくり歩きながら(歩くコースは定めない)笛の合図に合わせて立ち止まる
→ ぶつかったりころんだりしないように注意を促す
→ 止まる際のポーズを変えるなどして変化をつけて楽しむ
→ 動きに慣れてきたら、スピードを上げてみる

田んぼ

環境構成

- 活動場所の床や地面に田んぼの『田』の字を描く
→ 床であれば養生テープなど使用してもよい
→ 地面であれば、足を使って描くなど
- 4人1グループをつくり、最初に行うグループの子ども達は『田』の字の中の1つの四角に入り座る
- その他のグループは『田』の字の外で座って待つようにする



活動の進め方

- ① 田んぼのルールを説明する
→ 鬼役を先生が行い、子ども達は鬼にタッチされないよう、『田』の字の四角内を全員が同じ方向に逃げる
→ 鬼は『田』の字の線の上しか動けないことを伝える
→ 決められた回数逃げる事ができたら子ども達の勝ち
→ 1人でもタッチされてしまったら全員でスタート位置まで戻る
- ② まずは鬼のいない状態で田んぼに挑戦する
→ 『田』の字の四角内を全員で決められた順番通りに回ってみる
→ 「押さないように気をつけようね!」と注意を促す
- ③ 鬼のいる状態で田んぼに挑戦する
→ 鬼は慣れるまでゆっくり移動し、子ども達がぶつからないように注意する
→ 「鬼がよそ見したら行くといいよ!」「広く空いているところを見つけてね!」など、声かけを行う
→ 慣れてきたら鬼は移動するスピードを変えたり、タッチされてしまった子どもが、鬼と交代するなどルールを変えて楽しむ

トライを決める田んぼ鬼

環境構成

- 活動場所の床や地面に田んぼの『田』の字を描く
 - ➔床であれば養生テープなど使用してもよい
 - ➔地面であれば、足を使って描くなど
- 4人1グループをつくり、最初におこなうグループの子ども達は『田』の字の中の1つの四角に入り座る
- その他のグループは『田』の字の外で座って待つようにする
- 最初のグループに1人1個ボールを配布する
- ボールを持つときのお約束(お話中はボールを手放さない、人にぶつけないなど)を伝える

活動の進め方

- ①ボールを持った田んぼ鬼のルールを説明する
 - ➔“田んぼ”と基本的なルールは変わらない
 - ➔子ども達はボールを持ちながら鬼から逃げることを伝える
 - ➔「途中で落とさないようにしっかり抱きしめて運ぼうね!」など声かけをする
- ②実際にボールを持った田んぼ鬼に挑戦する
- ③次にトライを決める田んぼ鬼のルールを説明する
 - ➔ボールを持った田んぼ鬼同様、子ども達はボールを持ちながら鬼から逃げることを伝える
 - ➔「〇回逃げたらトライしてみよう!」と回数を決め、子ども達はその回数逃げた先にある『田』の字の四角内にトライを決める(左図参照)
 - ➔トライを決めるときに「トライ!」と試みるように声かけを行う
- ④実際に先生がトライの見本を見せる
- ⑤実際にトライを決める田んぼ鬼に挑戦する
 - ➔まずは鬼のいない状態で行い、動きに慣れる
 - ➔次に鬼がいる状態で行い、鬼は慣れるまではゆっくり移動し、子ども達がぶつからないように注意する
 - ➔慣れてきたら鬼は移動するスピードを変えたり、タッチされてしまった子どもが、鬼と交代するなどルールを変えて楽しむ

